

正明寺だより

3月18日(金) 春季彼岸会について

今年のお彼岸の行事では、法要の前の一時間を利用して「ペットロス」の死について考えていきます。

近ごろ、ペットに対する価値観は大きく変化しています。特にコロナの流行以降はペットを新たに飼い始める方が増え、その変化のスピードも加速しているように思います。

そんな中、どのような種類のペットであってもやはり生きとし生けるもの、古い病死は皆におとずれます。ペットの死に際しての悲しみ、また漠然とした不安、火葬したお骨はどうなるのだろうか、を抱える方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は「ペットの死に際する姫路市での対応など、さまざまな疑問について仏具屋「素心の社員 玉川将人」さんを迎えて講演・対談して参ります。

玉川さんは「甲い」についての発信をされているWEBライターでもあります。何よりご自身もペットの死に向き合った経験があり、経験者と専門家の両方の立場からお話いただけることと思います。

ペットを飼っておられない方におかれましても、死生観について考える時間となれば幸いです。

令和四年三月十八日(金)

正午 納骨塔法要

午後一時 講話「ペットロスに関する制度 宗教観

素心メディア事業部 玉川将人氏

午後二時 彼岸会法要

法要内で塔婆回向を行います。戒名 施主名を読み上げ先祖供養をいたします。

ご希望の方は便箋など適当な紙に

「供養する方の戒名」「施主名」「自身の名前」

をお書きの上、受付にお渡し下さい。

・お塔婆料 一体千円

当日にご都合のつかない場合は、事前の受付もして

おります。お支、直接お持ちいただくか、郵送、また

は口座、お振り込みの上で「戒名と施主名」をお便りや

メールなどでご連絡下さい。



ゆうちょ口座からのお振込み
14330-42536161
宗教法人 姫路山 正明寺
代表者 小林恵誠

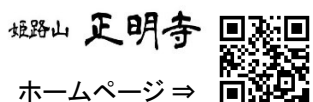
他銀行からのお振込み
ゆうちょ銀行
四三八店
普通
4253616

塀が新しくなりました

境内の塀を、護持会で新しくしていただきました。駐車場から入って正面の塀と、山門から入った正面玄関脇の目隠し、二か所が人工竹垣に作り直され、すっきりと美しくなりました。平素より護寺の為、ご協力いただき感謝申し上げます。お寺へお越しただいた折には是非ご覧ください。



各種SNSはこちらです



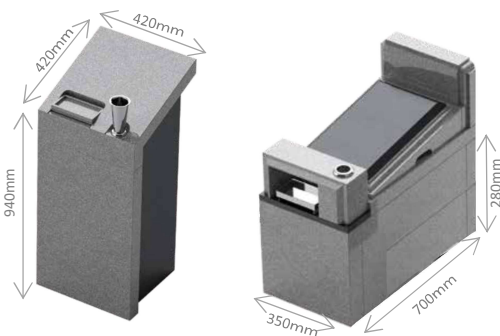
正明寺LINEアカウント開設にあたり

「お骨って、いつまで手元に置いていいんですか？」SNSで発信をしていると、見知らぬ方からこんな質問を受けることが多々あります。こういった質問に対する答えは大抵の場合、一つと決まっています。「お世話になっているお寺さんに聞いてください。」...私の返信に、質問をした方は恐らくがっかりされていることでしょう。「せっかく質問したのに...」「はぐらかされた...」そんな声が聞こえてきそうです。内容によっては私なりの考えをお答えすることもあります、それでも回答の締めは決まって「お世話になっているお寺さんに...」です。私はこれが誠実な答えだと信じています。というのも、仏事とは非常に多様なものです。ご存知の通り、仏教には「宗派」があり、宗派単位でそれぞれの道を進んでいるため、考え方に違いがあります。仏事のやり方に関する違いも「宗派によって色々違うんですね」と理解されている方が多いのではないのでしょうか。しかし実際の仏事では、宗派の違い以上に「地域」の影響が大きいのです。地域差です。もっと言えば「村ごと」「家ごと」単位でも違ってくるといのが正直なところ。ですから、顔も知らない方の仏事に関する質問を私が自信満々に答えることはできないのです。と、ここまで「仏事に関する質問はお世話になっているお寺さんに聞いて下さい」と再三にわたり申し上げましたが、それが難しいことも存じております。「そんなことを聞いていいのかわからない」「わざわざ聞くのも面倒...」様々な理由が考えられますが、とにかく、お坊さんに連絡しづらいというのがあると思います。だからこそ、SNSで見かけたどこぞの僧侶というよくわからない存在に、仏事の質問をなされる方がいらっしゃるのでしょうか。正明寺をお支え頂いているお檀家様がたにおかれましても、疑問があったとしてもお寺へは聞きづらいのではと思うのです。そこでこの度、少しでも連絡を気軽にできるように「正明寺LINEアカウント」を作成いたしました。ご友人にLINEで連絡する時と同じ要領で、お寺へ連絡できます。仏事に関する疑問、日程の調整、雑談のような内容でも、ご活用いただければと思います。個別にお返事いたします。お寺からは、月に一度だけ、毎月の行事の日程のご案内を全体向けに送信させていただきます。ぜひLINEを利用されている方はご登録下さい！もちろんこれまでと変わらず、お寺へ電話していただいたり、メールを送っていただく形でも大丈夫です。連絡手段の一つとしてLINEが加わったという話です。お気軽にご連絡いただける環境づくりの一步となれば幸いです。ちなみに冒頭に挙げました、「お骨っていつまで手元に置いていいんですか？」という問いに関しては、いつまでも置いておくという訳にはいきません。お骨はいずれは埋葬するものです。しかし急ぐこともありません。自然に自分の中で決心がついたタイミングで納骨していただければと思います。合掌（副住職 小林恵俊）



コンパクトなお墓のご案内

お墓の在り方も多様化する昨今、正明寺境内にあります正明寺納骨塔（合同墓）も多くの方にご利用いただいています。一方で、一般墓をお探しの方には、名古屋霊苑内にあります正明寺墓地にコンパクトなお墓を建立される事をおすすめしています。立地的にはお参りされる方からすると、場所によっては階段を上り下りしなければいけません、素晴らしい景観で、東には姫路城も望めます。ご先祖様の魂が宿られる場所としても、またお参りする側からしても、心が浄化される最高の立地と言えるでしょう。名古屋正明寺墓地は宗派は問いません。境内地も空きがあります。お気軽にお寺までお問い合わせください。（名古屋霊苑で土地+お墓を作って50~60万円）



ちょっと一息

今回は、クロスワードパズルはお休みです。前回の答えのみ掲載します。またの機会をお楽しみに！

前回の答え

縦

1、最澄(さいちょう) 2、龍(りゅう) 3、ラーメン 6、ゆか 7、高源寺(こうげんじ) 10、どん 11、賀茂(かも)

横

1、三陸(さんりく) 4、ケー(注意深くする=気を付ける→「き」をつけて食べ物になるのはK)

5、中古(ちゆうこ) 8、余暇(よか) 9、うどん 11、下弦(かげん) 12、不問(ふもん)